

ウイグル問題に関するシンポジウム

著名ウイグル知識人が一斉に消える悪夢、日本と世界にできること

登壇者



阿古 智子
(東京大学教授)



平野 聡
(東京大学教授)



杉山 清彦
(東京大学教授)



村上 政俊
(皇學館大学准教授)



レテプ アフメット
(日本ウイグル協会会長)

愛の反対は憎しみではなく、無関心です。

皆様が関心を持って頂けることを願います。

背景

2017年以降の大規模強制収容所政策によりウイグル人の人権状況が異常なレベルで悪化し、国際問題となっています。

その一環で、ウイグルの独自文化の継承の立役者であった著名な知識人が大勢収容され、行方不明となっています。その中には、日本とゆかりのある著名な知識人も多数含まれています。

事態改善のためには、世界中の知識人らが声を上げる必要があります。まずはウイグル知識人らの身に起こっていることを知る必要があります。

そこで、ウイグル知識人らに何が起きているか、最新情報を報告し、中国問題、国際政治や外交、国際法、歴史の専門家らが、それぞれの視点で発信し、ウイグル問題の改善について議論するシンポジウムを開催します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



日時

2024年3月20日
14:30 - 17:00
※14:00 受付開始



場所

東京大学駒場キャンパス
KOMCEE East K011

東京都目黒区駒場3-8-1



会場の詳細な場所は、左記QRをご参照ください。



お申し込み方法



左記QR (専用フォーム) よりお申し込みください。



入場料

無料



主催

日本ウイグル協会

<https://uyghur-j.org>
info@uyghur-j.org
03-5615-9597